

平成29年度 第2回奈良県教育サミット

**「就学前教育の充実をめざして」  
～幼小接続に関する宇陀市の取組～**



宇陀市教育委員会 教育長 福田 裕光

# はじめに

宇陀市の人口 3万1,162人 (平成30年1月1日現在)

- ◆ 小学校 6校 ……1,212名
  - 中学校 4校 ……682名
  - 幼稚園 3園
  - 保育所 公立2・私立1
  - 幼保連携型認定こども園 2園
- ……643名
- 子育て支援センター

幼稚園・小学校・中学校 【教育委員会・教育総務課】  
保育所・こども園 【福祉部・こども未来課】

- 連携をとって課題のある幼児、児童生徒の共通理解を図っている。
- 少子化を視野に適正配置が課題である。

# 宇陀市教育大綱

(平成28年3月制定)

## 宇陀市のめざす教育

### 基本目標

- 「確かな学力・豊かな人間性・健やかな心身」を基本に、自己実現のために真摯に研鑽する教育をめざします。
- 誰もが楽しく学べるために、教育環境の中長期的な展望を描きつつ、社会全体で子育てや家庭の教育力を高めることをめざします。
- 社会の一員として義務と責任を果たし、自他の尊厳を尊重し、地域社会の発展に寄与する人間づくりをめざします。
- 郷土の歴史や伝統文化に親しみ、地域産業の振興を通して、持続可能な社会づくりのための人材育成をめざします。

# 基本方針

- 1 確かな学力・規範意識・体力の向上
- 2 夢を育む教育環境づくり
- 3 地域全体で子育てを
- 4 人権文化の創造
- 5 郷土を誇り郷土を愛する人材づくり

「就学前・小・中連携」

28年度より 検討委員会を立ち上げる

# 幼小接続

「主体的・対話的で深い学びの実現」のために

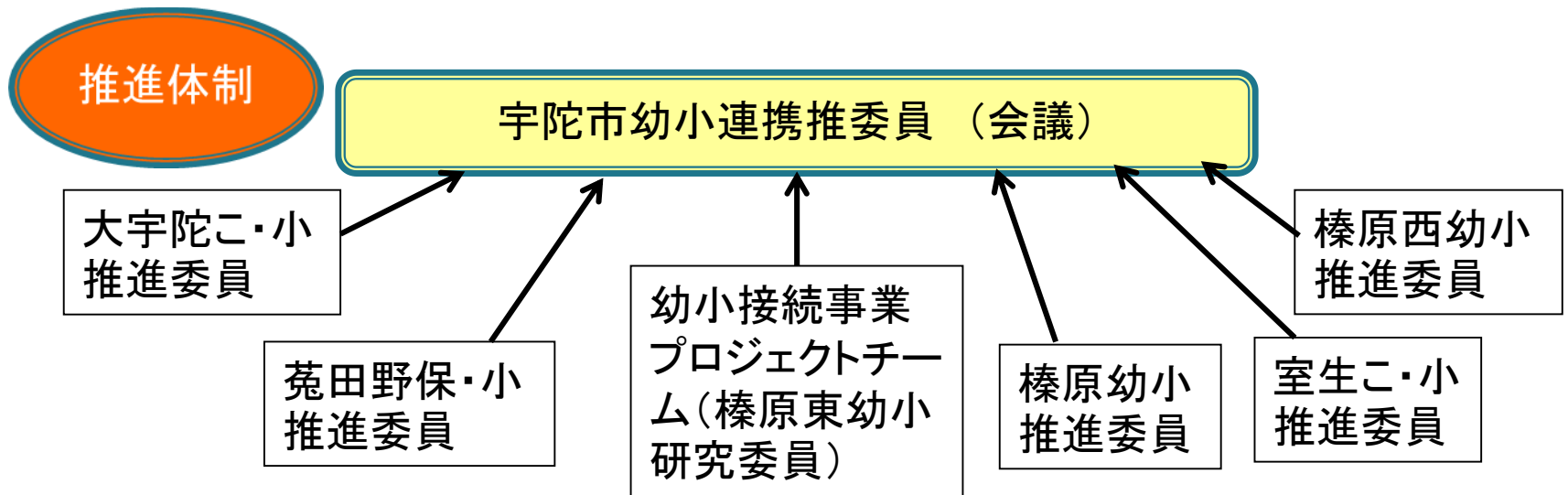
小学校・中学校での子どもたちの力が引き出されるよう、幼児期の教育と小学校教育の円滑な接続の在り方を探っていく。

- ・ 宇陀市立榛原東幼稚園・榛原東小学校が県の幼小接続事業、モデル指定校となって取り組む。

（ H28年度、H29年度 ）

「幼児期の学びを知り、小学校教育につなげる」

●研究モデル園校の取組を市教育委員会も協力しながら、市内各校区の幼小に発信していく。  
各校区の取組の進捗状況や課題等出し合い、より良い円滑な幼小接続を全体で考えていく。



# 「ワクワク ドキドキ 小学校」

～知りたい・伝えたい・つながりたい～

課題

「幼児は小学校に漠然と不安を抱いている」

子ども・・・「給食の時間が短いからどうしよう」「学校まで歩いていけるか心配」  
「男の人がたくさんいるからドキドキする」「何かわからないけど不安」

保護者・・・「給食について」「登下校について」「友達関係について」「小学校生活について」

子どもの戸惑いや不安感を糸口に交流内容を組み立てることからスタート

小学生と園児・保護者の交流から不安の解消を図り、安心感から学びに向かう気持ち、期待感とともに醸成していく取組を計画。

「知りたい・伝えたい・つながりたい」

小学生と園児・保護者

園と小学校の双方の先生方



# ①知りたい・伝えたい <子どもがつながる>



学校紹介・学校探検



小学校紹介カード・・・  
小学生が幼稚園を訪  
問して小学校の紹介





## 学校の生活が見える



あこがれをもち、これからの自分を想像する。

**小学生の学ぶ姿勢が刺激**



**自分たちの生活に取り入れようとする**



# 知りたい・伝えたい < 教職員がつながる >

「お互いの教育を知ることが、子ども達への援助(関わり)のヒントに」

小学校教員の園見学



事前事後の話し合い



互いの特徴や違いを理解し合い、共通の視点をもって話し合う

幼児期の終わりまでに育ってほしい姿やめざす子ども像を共通点に

園での遊びや経験が小学校のどのような学びにつながっているのかが見える



保育体験

卒園した子どもが、どのような小学校生活を送っているのかが見える



園の先生が小学校へ



# 知りたい・伝えたい 〈保護者がつながる〉



## 〈幼小連携便り〉

## 保護者交流・先輩保護者から話を聞く



11月16日(木)小学校の1年生の2・3時間目の生活科『秋見つけ』の授業に、つき組の子ども達も参加させて頂きました。



◎「園のどこか、「ゆっくり園やい」ってお兄ちゃんが言ってくれた。」お姉ちゃんが、好きなものに、ついて来てくれた。」など、小学生の優しさを感じたり、「一緒に勉強できて楽しかった。」「こんな勉強もあるとは、知らなかった。」など、ちよびり子ども達も小学生気分を味わっていました。小学校のお兄ちゃんやお姉ちゃんと秋みつけと一緒にすることで、とても経験ができました。

### 家庭への発信

## 子どもと保護者と学校をつなぐ

### 子どものことを知ってもらう

## 〈うちの子紹介シート〉

はじめまして! ~うちの子紹介シート~

こしょうかい

なまえ

(自分の顔をかいてね。)

みんなに知ってほしいこと  
(例: 性格・特徴・得意なこと・好きな物など)

と、よんでね!

うまれたひがっ にもうまれ

小学校でがんばりたいこと (してみたいこと) は

です。

# ②つながりたいく子どもがつながる・学びがつながる

## 小学校の運動会へ参加、合同活動の「秋みつけ」



### 「学びの接続」を意識した交流活動

\* 互いの教育の違いを理解し合う「相互理解」を図る

\* 「互恵性」のある教育活動

生活科「あきみつけ」の幼小交流カリキュラムを作成

榊原東小学校1年生・榊原東幼稚園交流会 カリキュラム

テーマ	「あきみつけ」			
	小学校1年生	幼稚園	小学校	幼稚園
・秋の自然の中で、思ったこと・感じたことを伝える。 ・1年生と一歳児が活動するよびあそび。	・秋の自然の中で、思ったこと・感じたことを伝える。 ・1年生と一歳児が活動するよびあそび。	・秋の自然の中で、思ったこと・感じたことを伝える。 ・1年生と一歳児が活動するよびあそび。	・秋の自然の中で、思ったこと・感じたことを伝える。 ・1年生と一歳児が活動するよびあそび。	・秋の自然の中で、思ったこと・感じたことを伝える。 ・1年生と一歳児が活動するよびあそび。
時 小1生への説明	子どもの活動	幼児への説明・配慮	幼児の1年生の姿	
11分	・あきの説明 ・あきの説明 ・あきの説明	・あきの説明 ・あきの説明 ・あきの説明	・あきの説明 ・あきの説明 ・あきの説明	・あきの説明 ・あきの説明 ・あきの説明
15分	・あきの説明 ・あきの説明 ・あきの説明	・あきの説明 ・あきの説明 ・あきの説明	・あきの説明 ・あきの説明 ・あきの説明	・あきの説明 ・あきの説明 ・あきの説明
20分	・あきの説明 ・あきの説明 ・あきの説明	・あきの説明 ・あきの説明 ・あきの説明	・あきの説明 ・あきの説明 ・あきの説明	・あきの説明 ・あきの説明 ・あきの説明
30分	・あきの説明 ・あきの説明 ・あきの説明	・あきの説明 ・あきの説明 ・あきの説明	・あきの説明 ・あきの説明 ・あきの説明	・あきの説明 ・あきの説明 ・あきの説明
40分	・あきの説明 ・あきの説明 ・あきの説明	・あきの説明 ・あきの説明 ・あきの説明	・あきの説明 ・あきの説明 ・あきの説明	・あきの説明 ・あきの説明 ・あきの説明



## アプローチカリキュラム

## スタートカリキュラム

1月 2月 3月 卒園・入学 4月 5月

- ・あいさつを生活目標に入れ、相手に伝わる心地よさや喜びを味わえるようにする。
- ・友達の前で話したり聞いたりする場面を多くもつ。
- ・ごっこ遊びや集団遊びを通して、楽しい雰囲気をつくる。
- ・友達と互いのよさを認め合いながら遊べるようにする。
- ・仲間を大切に、仲間のために力を出せる子どもにしていく。

人と  
かか  
わる  
力

- 元氣よくあいさつをする
- 相手の思いに気付き、話を聞こうとする
- 自分の気持ちや考えを、相手に分かるように伝える
- 友達と一緒に活動する楽しさを知る

- ・時計を見ながら「長い針が6になるまでに」などと声をかけ、食事や片付け、降園時間などを意識して生活できるようにする。
- ・正しい箸の持ち方、マナーなど子どもと再確認する。
- ・椅子に座って話を聞く機会を多くもち、徐々に長くしていく。
- ・入学前に親子で通学路と一緒に歩き、確認することを保護者に勧め徒歩での登下校を意識付ける。

生活  
する  
力

- 早寝、早起きをするともに時間を意識して行動する
- マナーを守って、一定時間内で食べ終えようとする
- いすに座って話を聞く習慣を付ける
- 自分の持ち物は、自分で準備し片付ける
- 進んでお手伝いをする
- 安全に必要な習慣や態度を身に付ける

- ・正月遊びや伝承遊びなど、いろいろな遊びを楽しむ中で文字や数字に関心をもてるようにする。
- ・興味をもった運動にチャレンジできるように用具を用意し、遊びの場や時間を確保する。
- ・友達と同じ目的をもち、考えたり協力したりする中で、活動する楽しさや目的を実現する喜びが味わえるようにする。
- ・バランスのとれたしなやかな身体をつくれるよう、いろいろな動きやゲーム等を取り入れる。

学  
ぶ  
力  
・  
体  
力

- ひらがなや数に興味をもち、自分の名前を読むことができる
- 遊具や用具を使って安全に遊ぶ
- 戸外で体を動かし、進んでいろいろな運動を楽しむ
- 友達と共通の目的に向かって協力して活動する

子どもの姿をつかむ・つなぐ  
(幼小の交流・連携・接続)

- 自分からあいさつをする
- 相手の話を最後まで聞く
- 発表のルールを知り、みんなの前で話すことができる
- 友達と仲良く工夫しながら遊んだり活動したりする

- チャイムに合わせて行動する
- マナーを守って、時間内に食べ終える
- 正しい姿勢で学習する
- 学習に必要なものを自分で準備し片付ける
- 約束を守って安全に登下校する

- 正しくひらがなを読む
- 正しい鉛筆の持ち方で文字を書く
- 遊具や用具を使って安全に運動する
- 集団でルールを守って、運動を楽しむ
- 友達と仲良く助け合い意欲的に活動する

- ・あいさつが人との関わりをスムーズにすることを具体的に知らせる。(「おはよう」「ありがとう」など)
- ・発表のルールを具体的に提示する。
- ・相手の話を最後まで聞くことは、相手を大切にすることであると具体的に伝える。
- ・隣の席の友達から人間関係づくりを始め、一緒に活動する良さを感じさせる。

- ・授業中の姿勢について、具体的に知らせる。
- ・ロッカーや机の引き出しの使い方を写真や絵などで提示する。
- ・予定を見ながら、自分で明日の用意ができるように保護者に協力を呼びかける。
- ・集団登校指導を重点的にに行い、具体的な場面で指導する。

- ・ひらがなや数の学習は、授業だけでなく生活場面でも機会をとらえて指導していく。
- ・正しい鉛筆の持ち方を具体的に指導する。
- ・遊具や用具を使った運動遊びを通して、体の基本的な動きを体験させる。
- ・号令に合わせた行動の仕方を知らせる。(「気をつけ」「礼」「前にならえ」など)
- ・自分がクラスの一員であることを感じ取り、安心感がもてる活動を取り入れる。

小学校の生活への見通しをもちながら、充実した園生活を送る

小学校の生活に慣れながら、安心した学校生活を送る

学びの自立

生活の自立

精神的自立

- ・基本的な生活習慣の確立をめざし、自分のことが自分のできるようになる。
- ・ルールを守りながら、みんなで協力して活動していけるようになる。
- ・何事にも意欲的に取り組み、最後まで粘り強くやり遂げる子どもにしていく。

# 教員の資質の向上のために



- ①個人 → 学年 → 学校、園全体の広がりへと意識変革
- ②「知らない部分を知ろう」 ↔ 教員の校種を超えた意識変革
- ③先生方の工夫・改善 ↔ 子どもの主体性につながる意識変革



# 「生活上必要な習慣や技能」

- ①食事②睡眠③排泄④清潔⑤衣服の着脱
  - ⑥子どもとしての最低限のマナーやルールを守る ⑦その他
- 時間を守る 約束を守る 身の回りの整理整頓ができる  
 きちんとした挨拶ができる 自立した生活態度を指す 等

生活習慣の定着を目的に、教育委員会が市内の公私立、全幼・保・こども園の5歳児に配布し、家庭での取り組みを応援する。

しゅうがくじゅんび せいかつしゅうかん NO.1

あさごはんをたべよ  
 おてつだいをする  
 じぶんできがえてぬいだぶくをたたけ  
 あさ、おきたら、おうちのひとに「おはよう」といおう  
 びんごに あいさつせよ  
 つかしたものを じぶんでわたづけよ  
 はやね・はやおき  
 おきる、じかん  
 ぬる、じかん  
 じぶんのなまえを ぶんだりのりしてみよう  
 おいにも、でもらうに1つ、マスのいろをぬいてね。  
 きれいに にじができるかな。

なまえ

★ すてーと

★ ーと

● じぶんでできた ● からスタートだよ。  
 ● ぬいにもおんぶでなくてもいいよ。できたところにいるをあらう。

しゅうがくじゅんび せいかつしゅうかん NO.2

● まいにちできたら、1つずついろをぬろうね。さあ、● まいでけるかな。 なまえ

はやおきができたよ

はきものを そろえたよ

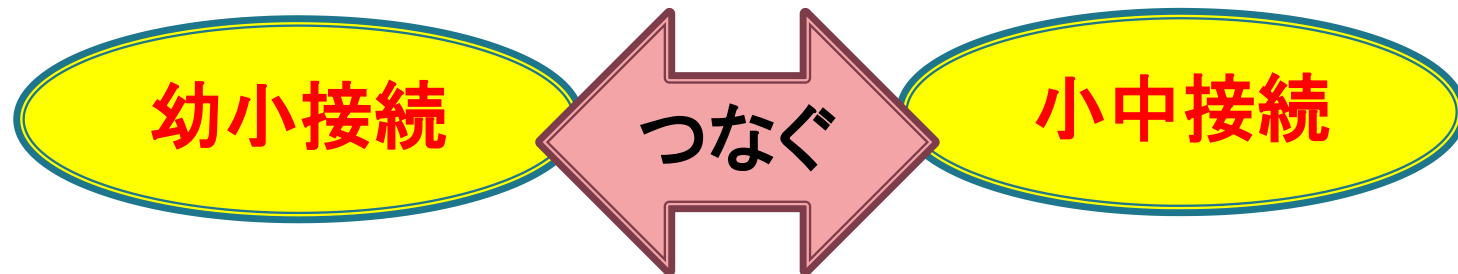
のこさず よくかんでたべたよ

じぶんから あいさつできたよ

きれいに はを みがいたよ

10かい ( ) が できたよ チャレンジ!!

# 子どもの「生きる力」と「夢」を育む教育の実現のために



就学前・小・中・高 ～点から線へ～

幼小の接続・連携、小中の接続・連携を強化する方向で幼児期から中学校までの教育を切れ目なく行う。



ご清聴有難うございました。

